

バイオ分野の企業が入居可能なラボ・施設

札幌市内には、研究に最適なレンタルラボやオフィス、インキュベーション施設が、多数整備されています。※税込表記の金額は、2019年3月時点のものです。



お問い合わせ／一般財団法人 さっぽろ産業振興財団(札幌市エレクトロニクスセンター 事務局) TEL.011-807-6000 <https://www.elecan.jp/> Mail: info-lab@sec.or.jp

札幌市エレクトロニクスセンター 技術開発室B (食・バイオ関連企業向けウェット仕様レンタルラボ)

所在地		
〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10		
入居条件	入居審査	
食・バイオ関連の研究開発を行うこと ※入居審査は実施します	審査あり	
分野	全室数	利用可能期間
●食品、バイオ系 ●食関連機器システム系	11室	制限なし
料金		
2,450円/月・1㎡(共益費・消費税込)、光熱水料別		
その他		
●駐車場/有り(月額4,000円/台) ●72.9㎡~153.3㎡、隣接部屋を連結して使用可能 ●設備/ウェットラボ仕様(P2レベル)		

◎利用可能な補助制度

	IT・バイオ研究開発補助金	バイオIT活用補助金
補助対象者	札幌市エレクトロニクスセンターのウェットラボに入居する企業 ※研究開発等を行う経費を補助します	札幌市エレクトロニクスセンターのウェットラボに入居する企業 ※所定の条件を満たすIT企業と連携する際に要する経費を補助します
対象となる取組	ウェットラボに入居する食・バイオ関連企業が行う、食・バイオ関連の研究・開発等に取り組む事業	ウェットラボに入居する食・バイオ関連企業が、下記いずれかのIT企業との間で、IT技術を活用した共同研究・共同開発、委託開発等に取り組む事業 ①札幌テクノパークに本社または支店を有するIT企業 ②札幌市内に本社を有するIT企業との間で、IT技術を活用した共同研究・共同開発、委託開発等に取り組む事業
補助上限・補助率	上限3,000千円/件(補助率1/2) ※2年目以降は段階的に減額し、2年目2,000千円、3年目1,000千円を上限とします	上限3,000千円/件(補助率1/2)
その他の補助条件	①ウェットラボへの入居開始後36ヶ月以内であること ②補助対象となる事業を、補助金の交付決定を受けた日から起算して6年度間、ウェットラボにおいて対象事業を行うこと ③札幌市及び(一財)さっぽろ産業振興財団が実施する事業に可能な範囲で協力を行える など	①ウェットラボへの入居開始後36ヶ月以内であること ②札幌市及び(一財)さっぽろ産業振興財団が実施する事業に可能な範囲で協力を行える など

[PICK UP 入居者インタビュー]

札幌市エレクトロニクスセンター 技術開発室B 入居企業

株式会社イーベック



株式会社イーベック 代表取締役社長 土井 尚人 といひさと

研究適地としての高いポテンシャル

2016年に、当社の札幌ラボ(抗体創薬研究所)を札幌市エレクトロニクスセンターに移転し、入居しています。もともと当社では独自のラボを持っていたのですが、バイオハザード対策等のインフラ整備に多大な経費が必要でした。このラボはそれらがクリアされていて、「入居するだけでOK」というのが、一企業としては非常にありがたかったです。札幌という大都市にありながら、緑豊かな森が眺められ、自然を身近に感じられるロケーションも魅力の一つ。また、施設内には食堂もあり、ITやバイオ産業の他企業の方々と交流を深める機会もあります。こうし

た交流のなかで“気付き”をもらえることもあり。札幌市には、創業当初からマッチングやファンド、ベンチャー支援など、さまざまな面で協力いただいておりますが、企業に寄り添い、他の都市にはない先進的な取り組みにチャレンジしてくれるのでとても心強いですね。札幌市は、空気も水も食べ物もおいしく、一生暮らしたいと思える、魅力的な街。研究開発適地としても高いポテンシャルを持っているので、さらにもっと多くの企業が増えれば、優秀な人材も集まり、札幌発のバイオ産業はますます大きく成長していくと思います。



お問い合わせ／独立行政法人中小企業基盤整備機構 北海道本部 北大ビジネス・スプリングIM室 TEL.011-728-8686 FAX.011-728-8687 <http://www.smrj.go.jp/incubation/ho-bis/>

中小企業基盤整備機構北海道本部 北大ビジネス・スプリング

所在地	入居条件	
〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目2	本事業の目的に則し、以下のいずれかの者で、賃料支払いの可能な方 [1]北海道大学等(以下「大学」という)の研究成果の活用または大学との連携(連携しようとする者を含む)により、新たな事業展開を図ろうとする者であって、以下の①から③の何れかに該当する者 ①大学発ベンチャー ②自らの研究成果をもとに起業しようとする大学の研究者、学生 ③大学研究者等と連携(共同研究や技術指導等)する、もしくは連携しようとする、個人、ベンチャー企業(社内ベンチャー含む)、中小企業等	
入居審査	分野	全室数
審査あり	指定なし	31室
利用可能期間		
原則5年以内(契約終了後、審査により2年以内の再契約可)		
料金		
3,000円/月・1㎡(共益費込・消費税別)、光熱水料別		
補助制度		
北海道及び札幌市による賃料補助制度あり ※要件有り。補助率は、居室の使用形態、賃貸年数により異なる。		
その他		
●駐車場/2,000円/月・台(消費税別) ※居室面積により台数を割り当て ●事業活動/製品生産(試作)、出荷可能 ●面積/25~53㎡ ●設備/ウェットラボ仕様(居室内給排水可) ●動物実験/可能※但し、マウス・ラット等の小動物まで。また、施設内での飼育・繁殖は不可。 ●インターネット/北大と共同研究の場合、北大の学内LANに接続可能、各自契約		



ノーステック財団 北海道産学官 協働センター (コラボほっかいどう)

所在地	〒001-0021 札幌市北区北21条西12丁目
入居条件	①産学官共同研究の企画・実施に係る事業 ②事業化に関する共同研究の実施に係る事業 ③上記に関連する事業を実施する、以下に掲げる産学官の者とする。 【産】財団の会員および財団が認めた企業・団体など 【学】国公立大学、短期大学、高等専門学校など 【官】国公設試験研究機関、国、地方公共団体等の行政機関など
入居審査	コラボ運営委員会(ノーステック財団内部委員会)による審査有り
分野	●食品・バイオ系 ●食関連機器システム系 ●環境・リサイクル系 ●住・生活関連系 ●健康・福祉系、情報通信系
全室数	11室
料金	2,542円/月・1㎡(共益費・消費税込)、光熱水料別
利用可能期間	補助制度
原則3年(延長可)	上限600,000円/年 ※最大3年間まで。
その他	
●駐車場/有り(応相談) ●事業活動/製品生産、出荷可能 ●面積/23.7~103.5㎡ ●設備/重量(機器設置室あり) ●動物実験/不可。(北大と共同研究を行う企業は北大施設が利用可能) ●インターネット/北大と共同研究の場合、北大の学内LANに接続可能、各自契約	

所在地	入居条件	
〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目	[1]事業目的を達成するために北海道大学(以下「本学」という)が認めた以下の者 ①本学の教職員その他これに準ずる者 ②企業関係者 ③自治体関係者	
入居審査	分野	全室数
審査有り	指定無し	41室
料金		
研究室・実験室 3,000円/月・1㎡(消費税込)、光熱水料別		
利用可能期間		
最大5年(延長可)		
その他		
●駐車場/有り ●インターネット/学内LANに接続可能		
お問い合わせ/ 北海道大学 産学・地域協働推進機構 フード&メディカルイノベーション推進本部 TEL.011-706-9601 http://www.fmi.hokudai.ac.jp/ Mail: office@fmi.hokudai.ac.jp		



北海道大学 フード&メディカルイノベーション 国際拠点

所在地	入居条件	
〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目	[1]事業目的を達成するために北海道大学(以下「本学」という)が認めた以下の者 ①本学の教職員その他これに準ずる者 ②企業関係者 ③自治体関係者	
入居審査	分野	全室数
審査有り	指定無し	41室
料金		
研究室・実験室 3,000円/月・1㎡(消費税込)、光熱水料別		
利用可能期間		
最大5年(延長可)		
その他		
●駐車場/有り ●インターネット/学内LANに接続可能		

所在地	入居条件	
〒001-0021 札幌市北区北21条西11丁目	[1]事業目的を達成するために北海道大学(以下「本学」という)が認めた以下の者 ①本学の教職員その他これに準ずる者 ②企業関係者 ③自治体関係者	
入居審査	分野	全室数
審査有り	指定無し	41室
料金		
研究室・実験室 3,000円/月・1㎡(消費税込)、光熱水料別		
利用可能期間		
最大5年(延長可)		
その他		
●駐車場/有り ●インターネット/学内LANに接続可能		
お問い合わせ/ 北海道大学 産学・地域協働推進機構 フード&メディカルイノベーション推進本部 TEL.011-706-9601 http://www.fmi.hokudai.ac.jp/ Mail: office@fmi.hokudai.ac.jp		